

ブラスバンド・フェローズ・プロムス

鈴木孝裕(日本ブラスバンド指導者協会会員)

Brass Band
Fellows (ブラス
バンド フェローズ)
の第四回のコン
サートを11月8日
に東京の日本橋
公会堂にて行い
ました。
今回のテーマは、
イギリス全土で毎
年夏に行われる、



世界最大級のクラシック音楽イベント《プロムス》。プロムスは英国放送協会《BBC》によって企画された、各地で開催される一連のクラシック・コンサートの総称です。2013 年は 75 回ものプロムが行われたようです。特に、ブラスバンドの聖地でもあるロイヤル・アルバート・ホールで開催される「最終夜 (last night)」は全土で放送される、もっとも人気の高いコンサートです。観客が国旗を振り回したり、合唱したり、とにかく自由に楽しめるのが特長。

今回の演奏会は、プロムス・ラスト・ナイトの定番曲を軸に、スパークのコンチェルト・グロッソ、ワーグナーのリエンツィ序曲(チャンピオンシップ・セクションの課題曲にもなった。)、エリック・ボールの交響詩「復活-我、再び蘇らん-」(2nd セクションの課題曲)等、このバンドにとってもチャレンジの曲目も多数。特にリエンツィ序曲はさすがチャンピオンシップ・セクション・レベルで強敵でした。しかし、メンバーの熱い思いと努力により、今のフェローズにとってのベストの演奏をし、お客様にも喜んでいただけたようでホッとしております。

ブラスバンド フェローズは、2012 年に立ち上が

ったまだ若いバンド。年2回の定期演奏会に加え、日比谷公園での野外演奏、関東近郊のブラスバンドによるブラスバンド・フェスタへ出演、フランス随一の「パリ・ブラスバンド」

のプリンシパルユーフォニアム奏者バステアン・ポーム氏をお迎えし、ミニ・コンサートを開催するなど精力的に活動しております。

私がこのバンドの指揮台に初めて立ったのはリストに尺八奏者の田辺 道恵さんをお迎えした第二回定期演奏会。ブラスバンドと尺八という組み合わせに当初は「良くも悪くもどうにでも転ぶな」と内心ドキドキ。結果は大成功！その映像は you tube に up されていてカウントもうなぎのぼり。

他に、ラヴァット＝クーパーのホーンテッド・ホールズやアンディ・スコットのスペース・インベーダー、グレアムのキャッツ・テイルズ、スパークのダイヴァージョンズ、ハーパーの三種の神器など野心溢れる選曲をしている。

次回のテーマは、ブロードウェイ・ミュージカル。オペラ座の怪人、レ・ミゼラブル、エビータ、ウィキッド等。その他には、ラヴァット＝クーパーの Vitae Aeternum (1st セクションの課題曲) やコルネット・カルテットをフィーチャーした Mr. Sandman など、まだまだ難曲は続きますが、向上心溢れるフェローズと一緒に私も精進します！